

TAVI

Transcatheter Aortic Valve Implantation

大動脈弁狭窄症に対する

経カテーテル弁置換術のご案内

ジェイス
J's

臨時号

2022年4月



順天堂大学 医学部 附属 静岡病院

JUNTENDO UNIVERSITY SHIZUOKA HOSPITAL

TAVI 経カテーテル弁置換術が

当院のハイブリッド手術室がついに完成しました。大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル弁置換術(TAVI:Transcatheter Aortic Valve Implantation)の実施設として認定されました。2021年11月よりハイブリッド手術室が本格稼働し、重症大動脈弁狭窄症の患者さんへの治療が可能になりました。

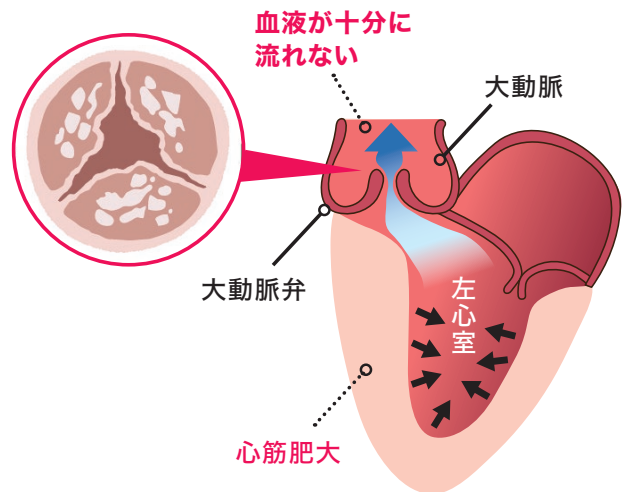
大動脈弁狭窄症

大動脈弁狭窄症とは？

大動脈弁は、通常3枚からなる弁で形成され、心臓から動脈血が送り出される際に開放する出口となります。この3枚の弁の接合部が、何らかの原因で癒合して可動性が悪くなり、弁を十分に開くことができないことを大動脈弁狭窄症といいます。

大動脈弁狭窄症が高度になると、全身に血流を送り出すことが困難となり、血圧低下や、胸の痛み、失神などの症状が出現するようになります。

また、心臓には圧負荷がかかるため、心機能の低下・心不全を発生するようになり、さらに重篤化すると突然死の原因になります。



症状

こんな違和感に注意！

- 動悸や息切れを感じる
- これまでと同じ仕事をこなせなくなった
- 足がだるい、むくむ
- 階段や坂道がつかく感じる
- めまい、意識が遠くなる時がある
- 食欲が落ちた
- 食べても痩せる

重症化

自覚症状の出現

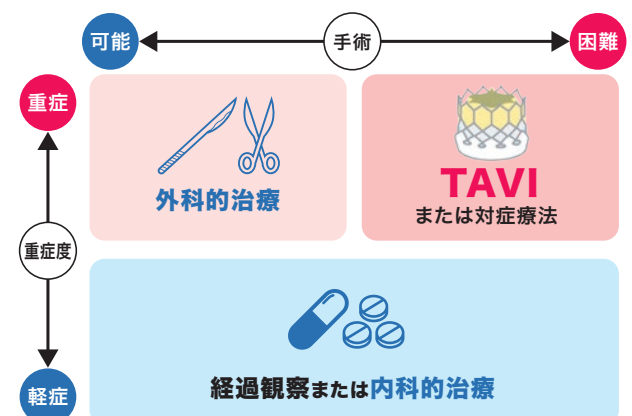
- 胸痛
- 血圧低下
- 失神
- 狭心症
- 心不全



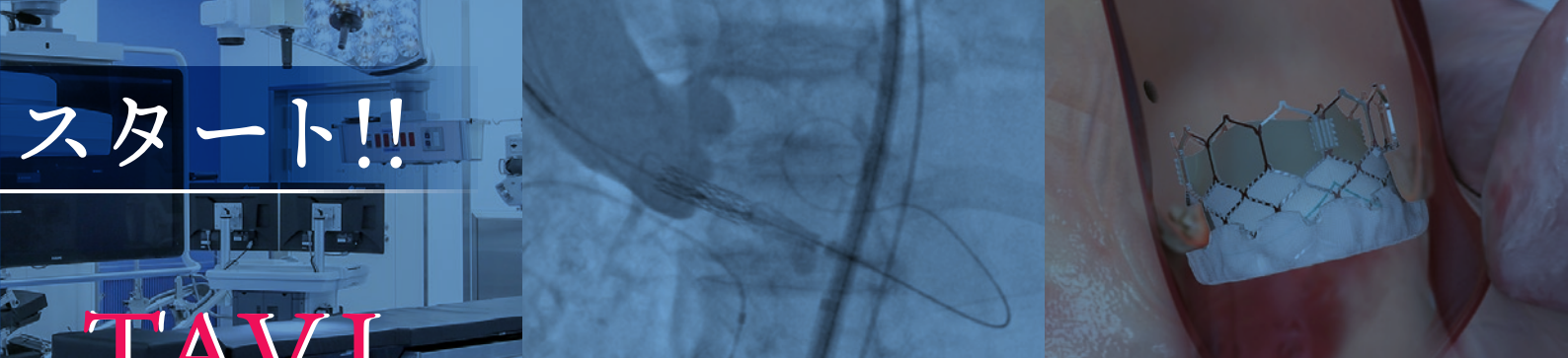
治療法

通常、大動脈弁狭窄症の治療法は、外科的に大動脈弁を人工弁に取り換える大動脈弁置換術の適応となります。外科的大動脈弁置換術は、歴史も長く安全性も確立した優れた治療法ではありますが、ご高齢の方、過去に心臓手術を受けている方や多臓器疾患を併存している方は手術のハイリスク症例とされます。

このようなハイリスク症例の方にも根治的治療を可能としたのが経カテーテル弁置換術(TAVIまたはTAVR)です。TAVIは手術では必須である心停止・体外循環を行わずにカテーテルを用い生体弁による人工弁を植え込む治療です。周術期死亡率は低く、最近では中等度リスクの症例に関しても外科治療と同等の結果も報告されています。



大動脈弁狭窄症の重症度と治療法



スタート!!

TAVI

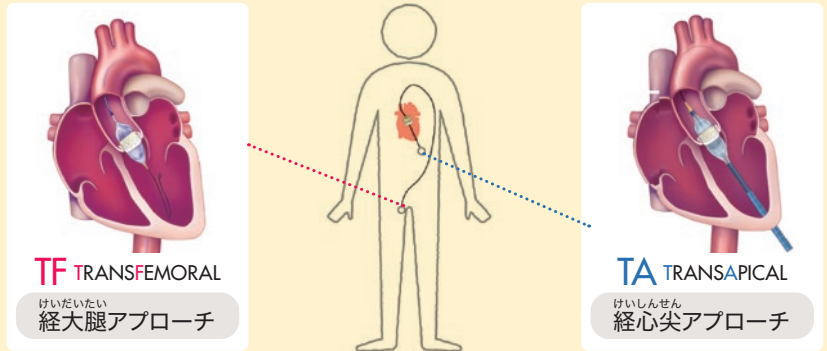
手術のTAVIについて

経カテーテル弁置換術といい、重症大動脈弁狭窄症に対する新しい治療法です。開胸することなく、また、心臓を止めることなく、カテーテルを使用して患者さんの心臓に人工弁を留置します。

低侵襲に加えて、人工心臓を使用しないで済むことから、患者さんの体への負担が少なく、入院期間も短いことが特徴です。

高齢で体力が低下している患者さんや他の重い病気をお抱えの患者さんなどが対象で、開心術が不可能で内服加療にて経過をみていた患者さんに対して、低侵襲に治療ができないかと考えられてきた治療法です。

手術のアプローチ方法



TAVIには、主に2通りのアプローチ方法があります。太ももの付け根の血管からカテーテルを挿入する「経大腿アプローチ(TF)」、左胸の肋骨の間を小さく切開し、心臓の先端(心尖部)からカテーテルを挿入する「経心尖アプローチ」です。患者さんの状態に適した方法を選択します。いずれのアプローチにおいても身体的負担が少ない治療が可能です。

手術のTAVIのメリット

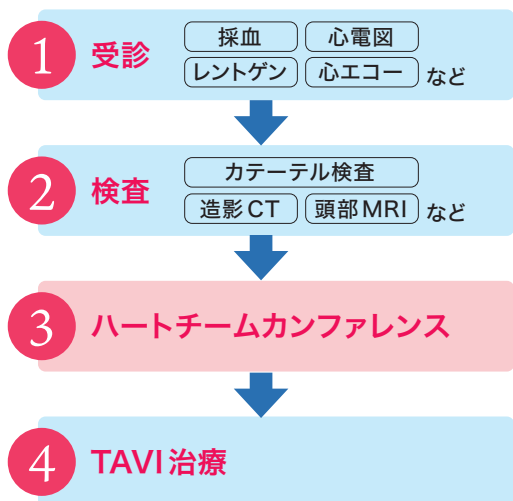


※ TAVIの対象とならなかった場合も小さな皮膚切開で行う低侵襲心臓手術による外科的大動脈弁置換術を考慮します。

手術のTAVIの対象者

- 重度の大動脈弁狭窄症があり、通常の外科的手術が困難な方
- ご高齢の方(80歳以上が目安)
- 過去に開胸手術を受けたことがある方
- 大動脈が高度に石灰化している方
- 頸動脈狭窄や慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肝硬変などの合併症がある方

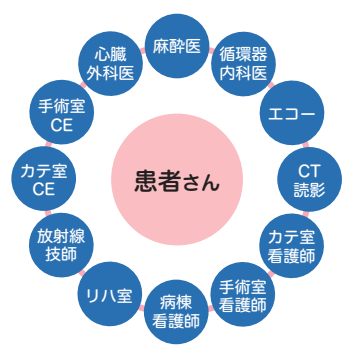
治療の流れ



手術のTAVIのチームについて



TAVIハートチームのメンバー



ハートチームの連携医療体制

当院では、中等度以上のリスクを有する症例については心臓血管外科、循環器内科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線技師、臨床工学技士、看護師からなるハートチームで話し合い、外科治療またはTAVIのどちらで治療するか決定していきます。

ハイブリッド手術室



2021年8月に新棟が完成しました。その際、広い手術スペースを確保し、手術台と血管造影X線診断装置を組み合わせたハイブリッド手術室を完備しました。現在は、腹部大動脈瘤、胸部大動脈瘤に対するステントグラフト治療、弁膜症に対する内視鏡手術を行っています。

今後はTAVI以外にも、カテーテル治療として閉塞性肥大型心筋症に対する経皮的中心筋焼灼術(PTSMA)や、最近では減少傾向にあるものの、リウマチ熱に伴う僧帽弁狭窄症に対する経皮的僧帽弁裂開術(PTMC)なども行う予定です。また、国内に導入されることが予想される僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療や左心耳閉鎖治療など、インターベンションのニーズが高まることが想定され、当院でも積極的に取り組んでいく方針です。

実施医の紹介

現在順天堂静岡病院には大動脈ステントグラフトの実施医・指導医を取得し、更に順天堂医院TAVIチームの一員として治療に加わり、TAVI実施医まで資格を有する大石淳実医師が在籍し、尽力しています。

大動脈瘤などの血管疾患、心臓の病気、手術についてご質問があればいつでもご連絡ください。



TAVI 総責任者
循環器内科 科長 教授 諏訪 哲



TAVI 担当医
心臓血管外科 科長 准教授 梶本 完



TAVI 実施医
心臓血管外科 助教 大石 淳実



TAVI 担当医
循環器内科 准教授 萩田 学



TAVI 担当医
循環器内科 准教授 和田 英樹

順天堂医院の実績



順天堂医院でのTAVI 300例の記念撮影

TAVI 施行患者さんの症例が408症例(平均年齢:84歳)にのぼり、デバイス留置成功率も100%の実績を誇っています。

(2016年2月~2021年8月)

順天堂大学医学部附属静岡病院

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129番地
<https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/>

TAVIに関するお問い合わせ TEL **055-948-3111**

経カテーテル生体弁等の画像提供:エドワーズライフサイエンス(株)

web サイト

